

3. 自然環境の保全

目標指標 西山の森林のCO₂吸収量

令和3年度の目標	令和3年度の結果
累計 1,532.00 t-CO ₂ 以上	累計 1,573.37 t-CO ₂



(1)西山の保全・再生・活用

①西山の森林整備

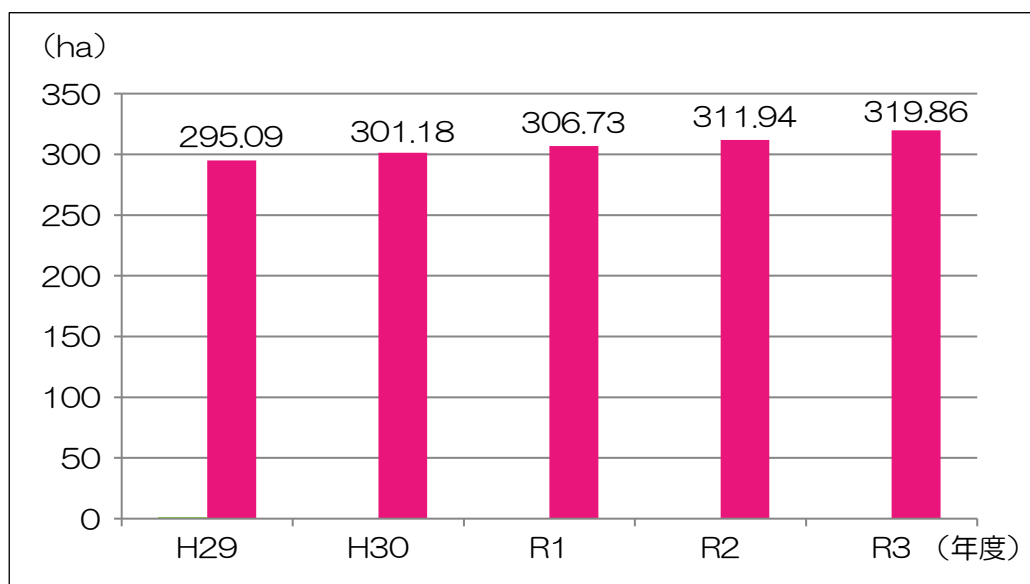
森林整備面積（竹林含む）

令和3年度の目標	令和3年度の結果
延べ 320 h a	延べ 319.86 h a



森林整備とは、森が健全に育ち、地下水の保全などの機能を維持していくために行うものです。間伐と言って木を間引いたり、枝をはらったりして、木の成長を助けます。このような整備で、木が吸収する二酸化炭素の量が増え、地球温暖化対策にもつながっています。令和3年度は7.92h aの整備を実施しました。

◎過去5年間の森林整備面積の推移（延べ面積）



森林整備面積のうち利用間伐面積

令和 3 年度の目標	令和 3 年度の結果
延べ 13.0ha	延べ 12.19ha

長岡京市では、森林を整備して出た木材等を利用する「利用間伐」を進めています。平成 23 年 11 月には、「公共建築物等における長岡京市産材の利用促進に関する基本方針」を策定しました。

令和 3 年度実績としては、0.24ha 分の利用間伐を行い、用途として、市の広報板や図書館の本棚を作成しました。

※間伐とは…健全な森林育成のために樹木を間引くこと。



西山産材を使った市広報板と図書館の本棚



②西山の生態系の保全

モニタリング 1000 里地調査の支援

令和 3 年度の目標	令和 3 年度の結果
調査項目 3 項目	調査項目 3 項目

環境省が実施するモニタリングサイト 1000 里地調査に、市が参画する西山森林整備推進協議会として参加しています。この調査は、全国の多数の場所で統一した方法により、各種生物の調査を行うものです。長岡京市内では、西山をフィールドとして鳥類、チョウ類、植物相の 3 項目の調査を登録しています。鳥類については、令和 3 年度、調査員の担い手不足などから、一時調査を中断しています。



③西山の有効活用

西山キャンプ場の有効活用

令和 3 年度の目標	令和 3 年度の結果
老朽化した付帯設備等の修繕と関係課等との活用方法の検討	老朽化した付帯設備等の修繕

雨風により木材の腐食等が進んだ橋の足場や手すり、テーブルの天板を取り換えました。今後も、西山キャンプ場が生涯学習や環境教育の場として有効に活用できるよう、維持管理に努めます。



④森林組合の育成

森林組合の組織運営維持

令和3年度の目標	令和3年度の結果
組合員数 104 人	組合員数 100 人



西山の森林整備を進めるために、長岡京市森林組合の組織運営、森林整備活動、研修、イベント参画などの活動を支援しました。

(2)竹林の保全・再生・活用

①竹林の整備

竹林整備面積

令和3年度の目標	令和3年度の結果
延べ 24.5ha	延べ 24.34ha



西山の住宅地に接する部分の多くが竹林です。ブランドの長岡京のたけのこを産出する場所ですが、放置されると森林を侵食し広がり、住宅地付近では、倒れて通行を妨げることもあります。

そのため、森林の整備の一環として竹林の整備も行っています。今後も引き続き、平成27年4月に改定した西山森林整備構想における最優先課題として、竹林整備に取り組んでいきます。

②竹の利活用の調査研究

竹粉・竹チップの累計活用量

令和3年度の目標	令和3年度の結果
累計 116m ³	累計 74.1m ³



多くの竹林を持ち、タケノコを特産物とする乙訓2市1町（向日市、大山崎町、長岡京市）では、伐採された竹の処理方法や放置竹林の問題が共通の課題です。

平成29年度は、防草剤として竹チップを活用するなどしましたが、平成30年度～令和3年度と利用がありませんでした。放置竹林問題の解決のためには、持続可能な方法で安定的に竹を利活用できる仕組みを確立する必要がありますが、竹チップの防草材としての品質や費用、効果の持続性には課題があり、新たな敷設は困難な状況です。今後は、6ページ上段に記載のとおり、産官学等の共同研究により、それぞれの強みを生かし、新たな竹の利活用方法・利活用のサイクルを生み出すことを期待し、令和3年度を皮切りに、今後共同研究を進めていきます。

(3)環境にやさしい農業の推進

①低化学肥料農業等の推進

有機栽培に対する補助金の交付

令和3年度の目標	令和3年度の結果
300 千円／年	300 千円／年

特産品の花菜^{ほしろう}の圃場^{ほしろう}に使用する有機栽培のためのたい肥購入に補助金を交付しています。現在、長岡京市の農家で栽培している花菜は、平成2年に「京のブランド産品」の指定を受けるとともに、平成17年から「京都こだわり生産」の認証を受けています。



花菜（はなな）

②市民農園の充実

シルバー農園の運営

令和3年度の目標	令和3年度の結果
利用者数 180 人 (最大定員)	利用者数 155 人

長岡京市では、高齢者の生きがいづくりのために60歳以上の方を対象とした「シルバー農園」を運営しています。

井ノ内園と長岡園、そして調子園の市内3カ所を運営しています。利用者の健康増進に向けて、今後も継続的な運営を行っていきます。



③地産地消の推進

地産地消推進協議会の開催による取り組みの充実

令和3年度の目標	令和3年度の結果
学校給食納品額 1,000 万円以上	学校給食納品額 1,064 万円

令和2年度からは、長岡京市の全小中学校で、地元産の野菜を給食に使用しています。特産の花菜、ナス、タケノコなども提供されており、児童・生徒の食育の面からも効果をあげています。



④農地の保全

農地パトロールの実施及び農地銀行制度の活用

令和3年度の目標	令和3年度の結果
遊休農地 12.8ha 以下	遊休農地 13.6ha



長岡京市の農地は、令和3年度末現在で239.7haあるので、そのうち5.7%が遊休農地ということになります。

遊休農地とは、農作物を収穫するために使われていない農地のことです。遊休農地の発生を未然に防ぐため、農地パトロールを行い、耕作が不十分な農地については、市の農地銀行制度や国の中間管理機構への紹介や農業委員を通して貸し手借り手のあっせんを行い、担い手への集積を行っています。

※農地銀行制度とは…農家間で農地の貸借を円滑に行うための本市独自の制度。農業委員会が仲介する。

(4)水辺環境の保全・再生

①河川・水路の維持管理

河川清掃支援

令和3年度の目標	令和3年度の結果
参加者数 280人	参加者数 215人



河川や水路などの清掃を行う個人や団体にごみ袋を交付しています。近年、集中豪雨などにより水路などが氾濫する危険もあります。地域の方による日頃の清掃活動やボイ捨てをしないなどの行動がまちを守ることにつながるため、今後も引き続き支援を行います。

②ホタルの保護と育成

ホタルの人工飼育の実施、小泉川流域での河川清掃 ホタル保護育成の市民啓発

令和3年度の目標	令和3年度の結果
ホタルの生息地域 西代橋～菩提寺橋 観賞のタベ、 捕獲防止パトロールの実施	ホタルの生息地域 西代橋～菩提寺橋 捕獲防止パトロールの実施



長岡京市を流れる小泉川には、昔からホタルが生息していますが、開発等の影響もあり、数が減少していました。そのため、長岡京市では「長岡京市ゲンジボタルを育てる会」とともに、河川清掃や人工飼育を行って、ホタルの保護と育成に取り組んでおり、近年はホタルの数が増えてきたのではないかとされています。観賞のタベについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としましたが、再開できる活動は再開しようということで、捕獲防止パトロールを再開しました。

4. 快適な都市環境づくり

目標指標 住民一人当たりの公園面積

令和3年度の目標	令和3年度の結果
住民一人当たりの公園面積 3.42m ²	住民一人当たりの公園面積 3.31m ²



(1) 身近な緑の保全・創出

① まちなかの緑の創出

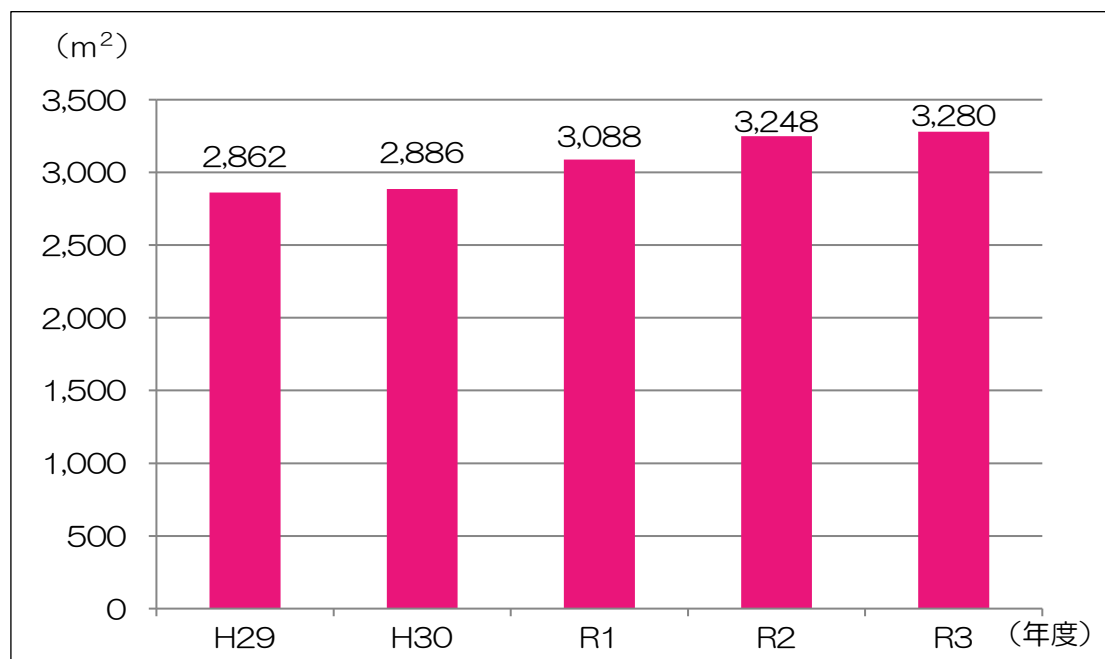
まちなかの公共空地等に植栽

令和3年度の目標	令和3年度の結果
まちなかに創出した緑被面積 累計 3,050m ²	まちなかに創出した緑被面積 累計 3,280m ²



緑の基本計画に基づき、まちなかに緑を増やし、魅力あるまちづくりを行うとともに、生き物にとっても住みやすい環境づくりを行っています。

◎過去5年間の市内緑被面積の推移（累計）



緑の講習会参加数・グリーンカーテンコンテスト等への応募数

令和3年度の目標	令和3年度の結果
参加・応募者数 470 人	参加・応募者数 287 人



住宅が多い長岡京市のまちなかでは、緑は貴重な資源です。長岡京市では、緑豊かなまちづくりを推進するため、（公財）長岡京市緑の協会と連携し、緑の講習会やグリーンカーテンコンテストなどを実施しています。令和3年度は緑の講習会を10回開催し、延べ103人の参加がありました。グリーンカーテンコンテストについては、家庭部門（18件）、団体部門（13件）の応募があり、延べ184人の参加がありました。

②公園緑地の整備・維持管理

新規公園の整備・既存公園の維持管理

令和3年度の目標	令和3年度の結果
住民一人当たりの公園面積 3.42m ²	住民一人当たりの公園面積 3.31m ²



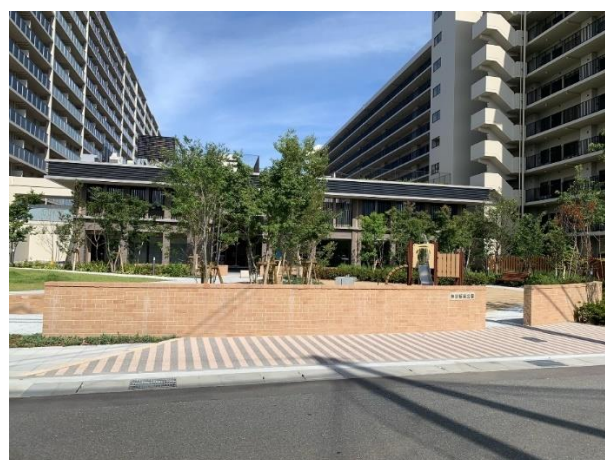
※参考：京都府下の平均 7.85m²（令和元年度）

本市は、市域が狭い上、約4割が西山に覆われており、自然公園や運動公園などの大規模な公園整備は難しい状況ですが、平成28年度には2.2haという広大な西代里山公園が完成しました。その他、令和3年度には、小規模ながら五つの公園が供用を開始しています。

今後も市民が憩える公園づくりや管理に取り組んでいきます。



令和3年6月供用開始 天神1丁目西公園



令和4年2月供用開始 神足稲葉公園

③緑の協会と連携した緑化の推進

みどりのサポーター制度の普及

令和3年度の目標	令和3年度の結果
みどりのサポーター数 106 団体	みどりのサポーター数 110 団体



平成16年10月から始まったみどりのサポーター制度は、市内の公園や道路の掃除や植栽などを行うグループを支援する制度です。令和3年度は、出前講習会や広報紙への特集記事の掲載などを通して、制度の周知や活動事例の紹介を行ったことで、やや登録団体数が増えました。

緑の協会に登録を行うと、花苗の提供や清掃用具の貸出などの支援が受けられます。「公園が雑草ではなく、草花がいつも咲いている場所にしたい。」「家の近くの道路はいつもきれいにしていきたい。」など様々な思いを持って、令和3年度は1,418人のサポーターが活動しました。

(2)環境に配慮した都市の整備

①中心市街地における環境配慮型の都市基盤整備

歩道の透水性舗装の施工

令和3年度の目標	令和3年度の結果
長岡京駅前線第4工区の工事に反映	長岡京駅前線第4工区の修正設計 用地買収



歩道に雨水がたまりにくくする「透水性舗装」や都市のヒートアイランド現象の抑制につながる車道の「遮熱性舗装」は、環境に配慮した都市基盤整備と言えます。令和3年度は、長岡京駅前線第4工区（産業文化会館以西から阪急踏切を横断して数メートルまでの区間）の工事の設計に修正が必要となったため、修正設計を行い、用地買収を進めました。令和4年度以降、埋蔵文化財調査等の工事を進める予定です。

阪急長岡天神駅周辺整備の検討

令和3年度の目標	令和3年度の結果
暫定事業設計用地取得	暫定事業設計用地取得



令和元年度に阪急長岡天神駅周辺のまちづくりについて、関係住民や地権者との連携のもと土地区画整理事業調査を行い、土地区画整理事業の実施が効果的と考えられる地区の抽出を行いました。

令和2年度は、区画整理事業調査を継続し、補助幹線道路や駅前広場について検討を行いました。

令和3年度は、東口暫定駅前広場の設計を行う中で、植栽等のみどりを取り入れる計画を立てるとともに、用地の先行取得を行いました。

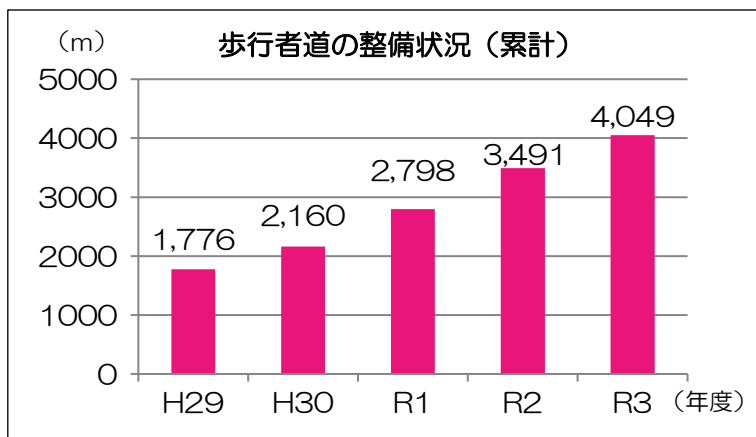
②歩行者優先の道路空間整備

歩行者道の整備

令和3年度の目標	令和3年度の結果
570m	547m

舗装復旧に合わせ、老朽化の激しい側溝の改良により歩行者が歩きやすい歩道を確保するため、神足3丁目地区、竹の台地区、野添1丁目地区、高台西地区、友岡2丁目地区で合計延長547mの整備を行いました。

また、歩行者の安全性及び快適性を確保するため、奥海印寺地区で11mの歩道整備を行いました。



電線類地中化の推進

令和3年度の目標	令和3年度の結果
長岡京駅前線第4工区の工事に反映	長岡京駅前線第4工区の修正設計 用地買収

長岡京駅前線第4工区の歩道設計では、電線共同溝を設け、電線類地中化の自転車歩行者道（幅員4.5m）としました。令和3年度は、工事の設計に修正が必要となったため、修正設計を行い、用地買収を進めました。令和4年度以降、埋蔵文化財調査等の工事を進める予定です。

※電線共同溝工事とは…電線の設置・管理を行う2以上の事業者の電線を収容するため、道路管理者が道路の地下に設ける施設であり、道路上にある電柱を撤去し、電力線・通信線を地下に収容することにより快適な歩行空間の確保、景観の向上を図ることを目的としています。



③個性ある景観の保全・形成

「長岡京市景観計画」の内容見直し

令和3年度の目標	令和3年度の結果
新景観計画及び景観形成ガイドラインに基づく運用	新景観計画及び景観形成ガイドラインに基づく運用

令和2年度に改定した景観形成ガイドラインに基づき、新景観計画の景観形成基準を申請者に的確に伝え、良好な都市景観への誘導を実施しています。



(3)歴史文化資源の保全・活用

①歴史的名所の活用

神足ふれあい町家の活用

令和3年度の目標	令和3年度の結果
入館者数維持 (平成29年度現状値:18,939人)	7,143人



新型コロナウイルスによる施設の休館及び事業縮小により入館者は前年度より減となりました。コロナ禍において、神足ふれあい町家のホームページでの情報発信の強化や企画展の実施など、可能な範囲で神足ふれあい町家の活用を行いました。

②ふるさと資料館の整備

埋蔵文化財センターの啓発事業参加者数

令和3年度の目標	令和3年度の結果
参加者数 3,600人	参加者数 923人



新型コロナウイルスの影響により、開館時間の短縮を行ったほか、例年実施していた発掘調査現地説明会や夏休み歴史教室などを中止しました。また、大河ドラマ関連事業として令和2年度に実施した市内周遊型のイベントは、令和3年度には行っていないため、参加者数が大きく減少しました。一方で、コロナ対策を徹底し、埋蔵文化財調査センターでの常設展示のリニューアルや特別企画展、文化財講演会、調査成果報告会等を開催しました。

(4)環境美化の推進

①地域の清掃活動の促進

530運動参加団体への支援

令和3年度の目標	令和3年度の結果
支援継続	支援継続(83団体)



530運動とは、ごみを拾うことにより捨てない心を養い、散乱するごみの現状を自分達の問題として考えようという運動です。5月30日(ごみゼロ)にちなんで、毎年この時期に、市内事業所や自治会なども参加して行っています。市では、この運動に参加していただく団体に、ごみ袋の配布や火ばさみなどを貸し出して、支援しています。令和2年度は、新型コロナウイルスへの警戒感から実施しない団体が多かったのに対し、令和3年度は、実施時期や規模を調整しながら、実施していただける団体が多かったため、前年度の45団体と比べ、支援団体数は大幅に増えました。

②散乱ごみのない美しいまちづくり

美化パトロール・ワンワンパトロールの実施

令和3年度の目標	令和3年度の結果
環境美化推進員による 美化パトロール 1回/週 年間60日 夜間パトロール等における ワンワンパトロール1~2回/月	環境美化推進員による 美化パトロール 1回/週 年間60日 夜間パトロール等における ワンワンパトロール2回/月

ポイ捨て防止の指導・啓発を行ったり、散乱ごみを回収したりするなどのパトロールを行っています。
回収したごみの量は、たばこ 18,063 本、缶・ビン・ペットボトル 581 本でした。



(5)適切な環境管理

①環境調査の推進

各種環境調査の実施・小畑川、小泉川の水質保全

令和3年度の目標	令和3年度の結果
基準超過件数の減少 (平成29年度基準値：12件)	基準超過件数 11 件
小畑川・小泉川 透視度：30 cm以上 BOD：2 mg/ℓ以下 PH：6.5~8.5の維持	小畑川・小泉川 透視度：共に 30 cm以上 BOD：小畑川 1.1 mg/ℓ 小泉川 0.5 mg/ℓ PH：小畑川 7.5 小泉川 7.8

市では、変化する地域の生活環境を継続的に把握するため、独自に河川水質、自動車騒音、環境騒音、窒素酸化物、農業用井戸水の調査を行っています。令和3年度の調査では、212項目中11件で基準値を超過しました。毎年10件前後の基準超過が見られますが、いずれも一時的なもので、特に異常は見られませんでした。



②環境保全に係る啓発

生活環境向上のための啓発

令和3年度の目標	令和3年度の結果
広報紙への生活環境マナー 啓発記事の掲載	広報長岡京 2 回掲載 市ホームページ掲載

広報長岡京に啓発記事を 2 回掲載するとともに即時的な内容のものはホームページに掲載し、啓発に努めています。



5. 協働・環境学習・エコアクションの推進

環境ボランティア養成講座の延べ受講者数

令和3年度の目標	令和3年度の結果
受講者数延べ 145 人	受講者数延べ 88 人



(1) 市民活動サポート機能の拡充

① 市民活動サポートセンター機能の拡充

市民活動サポートセンターの管理運営

令和3年度の目標	令和3年度の結果
市民活動・ネットワーク づくりに関する相談件数 延べ 70 件	市民活動・ネットワーク づくりに関する相談件数 延べ 83 件



新型コロナ感染拡大防止措置等がある中、市民活動・ネットワークづくりに関する相談件数は延べ 83 件と目標値を超える相談件数がありました。様々な立場の方からの相談が増えており、市民活動の相談窓口としての知名度はあがってきていると感じます。

② 各種団体・サークル等活動の支援

環境団体・サークル等の担い手発掘に向けての支援

令和3年度の目標	令和3年度の結果
ステップアップ・チャレンジ会議の 運営/イベントを通した活動紹介	ステップアップ・チャレンジ会議の 運営/イベントを通した活動紹介



ステップアップ・チャレンジ会議は省エネ推進チームと環境検定チームの二つが、省エネの啓発や環境意識の高揚に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、事業の見直しのため、省エネモニター事業は行いませんでしたが、広報紙に、今日から始められる省エネの知恵を紹介する「いちエコ」を掲載しました。長岡京環境検定は、コロナ禍でも実施できる方法として、市ホームページを活用した実施を行いました。ステップアップ・チャレンジ会議自体は、第二期環境基本計画期間の終了をもって解散しますが、今後は、そこで得られた知見や人のつながりを継承しつつ、より広範にわたり環境への取り組みの輪が広がっていくよう、環境フェアでのラジオ活用のように、市民から市民への啓発の機会を創出していくこととします。

③中間支援組織母体の立ち上げに向けたプラットフォームづくり

団体間連携の促進

令和3年度の目標	令和3年度の結果
交流の機会の設定	交流の機会の設定



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの催しが中止となる中、環境フェアを、ラジオ・市ホームページを活用し、オンエア・オンラインで開催しました。ラジオへの出演は、団体間での交流の機会ともなりました。

(2)環境を担う人づくり・人結び

①環境活動を担う人づくり

地域の環境活動を担う人材養成講習会・研修会の実施

令和3年度の目標	令和3年度の結果
受講者数延べ 145 人	受講者数延べ 88 人



例年3月頃に西山森林整備推進協議会主催で、森林ボランティア養成講座を開催しています。西山の取り組みについての紹介や、竹林に入っでの整備作業を体験するもので、実施にあたり、市内の二つのボランティア団体にもご協力いただいています。令和3年度も、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

<教員向け>西山の自然を活用した環境学習のオリエンテーションの実施

令和3年度の目標	令和3年度の結果
延べ 204 人	延べ 173 人



小学校で西山をフィールドとした環境教育を積極的に行ってもらうため、新任の教員や長岡京市に初めて着任した教員向けにオリエンテーションを実施しています。実地研修では、西山で活動しているボランティア団体の方に案内や説明のご協力をいただき、教員とボランティア団体をつなぎ、環境学習や遠足に活かせるよう、実践的な研修を行っています。講習内容は、シカやイノシシ等野生生物の生態についてや、西山の自然観察等についてです。平成24年度からの累計で延べ173人の教員に参加いただいておりますが、令和3年度は、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見送りました。第三期環境基本計画においては、各学校の特色を尊重した西山学習を推進できるよう、目標設定の見直しを行っています。

②グリーンコンシューマー活動の支援

③環境地域通貨の導入

環境に配慮した運営の事業所への啓発

令和3年度の目標	令和3年度の結果
環境に配慮した運営の 事業所への啓発	環境に配慮した運営の 事業所への啓発

広く事業所等に対しクールチョイス等の啓発を行いました。また、年度末には経済協議会が主催する勉強会に参加させていただき、第三期環境基本計画のポイント説明とともに、事業所における環境配慮の重要性について講師を招き、意見交換を行いました。



令和4年3月に実施された経済協議会による勉強会

(3)環境学習の推進

①環境学習の機会づくり

小中学校の環境学習の充実

令和3年度の目標	令和3年度の結果
各学年指導時間数 小学校 17 時間/学年・年以上 中学校 7 時間/学年・年以上	各学年指導時間数 小学校 9.53 時間/学年・年 中学校 17.5 時間/学年・年



環境学習は、全ての小中学校で実践されており、各学校で行われている環境に関する学習時間を合計し、一学年の平均学習時間を割り出しました。取り組み内容は学校により特色があり、学校農園による栽培活動、雨水タンクの活用、生ごみのたい肥化、ホタルの孵化活動、太陽光や水力などエネルギー学習、薪ストーブ火入れ式などです。

環境学習会等の開催回数・参加者数

令和3年度の目標	令和3年度の結果
環境イベント・行事への 参画主体数 38 主体	環境イベント・行事への 参画主体数 33 主体

環境の取り組みの輪を広げるためには、多くの団体と連携することが重要と考えています。新型コロナウイルスの影響により、実施を見送った事業も多くありますが、星空観察のように、講師の協力を得て、市ホームページに教材を掲載し、大気汚染防止等の啓発を行った事業もあります。



市ホームページに掲載の星空観察教材

放課後子ども教室（環境活動体験）、 市民企画講座（「環境」テーマ分）等の実施

令和3年度の目標	令和3年度の結果
参加者数 200 人/年	参加者数 0 人/年
講座数 2 件/年 参加者 40 人	講座数 3 件/年 参加者 88 人



放課後子ども教室は、コロナ禍により、開催を見送った校区が複数ありました。開催した校区においても、環境をテーマとした活動は実施しませんでした。

市民企画講座は、その名のとおり市民が主体となって企画するものであり、令和3年度は、「長岡京市でSDGsを」「星座を探そう、天体望遠鏡で星を見よう」「自然に親しみ自然を守ろう」の三つを開催しました。「星座を探そう、天体望遠鏡で星を見よう」は、新規の講座で申し込みが多く、参加者数が伸びました。幅広い年代の方に環境について学ぶ機会を提供できることとなりました。

②西山を活用した自然体験学習の推進

西山ファミリー環境探検隊の実施

令和3年度の目標	令和3年度の結果
4回・100人参加	2回・37人参加

西山ファミリー環境探検隊は、西山をフィールドにして、家族で自然を楽しんでもらう中で、西山への理解を深めてもらい、環境保全意識の高揚を図ろうとするものです。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、2回の開催を行うことができました。



催しでのカブトムシの寝床づくり

西山を活用した環境教育の実施

令和3年度の目標	令和3年度の結果
小学校 10 校	遠足は 0 校



春の遠足では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全小学校が遠足そのものを見合わせる結果となりました。

薪ストーブを設置している神足小学校では、西山の間伐材の薪を割る体験を行ったほか、その薪や、着火に適した柴を用いて、薪ストーブの火入れ式を行い、昔の人が実践していた里山と人との関わり方について勉強しました。

③環境啓発型イベントの開催、イベントへの出展

環境フェア・長岡京竹あそびなどのイベントの実施

令和3年度の目標	令和3年度の結果
参加者数延べ約 8,600 人／年	参加者数延べ 70 人 ただし環境フェアを オンエア・オンラインで実施



令和3年度は、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止を余儀なくされました。6月のホテル観賞のタベ、9月のサポセンフェスティバルは、例年多くの来場者がありますが、中止の判断を行いました。

比較的小規模のイベントとして、8月の打ち水大作戦は、感染対策を徹底した上で実施し、70人の参加がありました。

また、コロナ禍でもできるイベントの形として、例年秋に行っている環境フェアについては、コミュニティラジオ「FM おとくに」と市ホームページを活用し、オンエア・オンラインで開催しました。予定していた農業祭との会場での合同開催は、農業祭が中止となったため叶いませんでしたが、ラジオの中で、農業祭実行委員会が主催する地元野菜の直売会との中継放送を実現するなど、環境保全と親和性の高い「農」分野とのコラボレーションを果たしました。「農」と「環境」それぞれが独立して事業を行うのではなく、一体となって事業を行うことで、「地産地消と温暖化対策」など、横断的な啓発を行うことができ、また、集客・PR 効果などの面でも相乗効果を得られたと評価しています。ラジオの後半では、地元高校生と、年齢層の高い環境団体との意見交換会を実施し、世代を超えた交流を通して、環境問題を幅広い世代に伝えました。このように、市民による環境への想いの情報発信の機会を創出することで、市民から市民への啓発の活性化を促し、環境問題を「自分ごと」としてより身近に考えていただきたいと思います。



打ち水大作戦の様子